

経営強化プラン策定の主旨

地域医療ニーズへの対応	病院経営を取り巻く環境の変化	国の動向
感染症指定医療機関として関係各所と連携しながら患者対応に尽力し、がん診療や救急医療など地域医療ニーズへの対応を充実していく。	コロナ禍を通じた患者の受療動向変化、医師の働き方改革や医療DXの取組推進、物価高騰や賃金上昇など病院の経営環境が変化している。	公立病院を対象とした経営強化ガイドラインを提示し、公立病院の地域における役割明確化や医療連携強化などを推進している。

圏域における地域医療ニーズの変化や病院経営を取り巻く環境の変化を踏まえて、「公立病院経営強化ガイドライン」に沿った第3期中期計画を作成することで、圏域のバランスを考慮した効果的な医療提携と経営改善を両立し、持続可能な病院経営の実現に取り組む。

経営強化プランの要点（対応方針）

（1）役割・機能の最適化と連携の強化

<p>①地域医療構想、地域包括ケアシステムの構築を踏まえた当院が果たすべき役割・機能</p> <p>▼病床機能：急性期機能を基本としながら、高齢者医療需要の増加に対応するため、地域包括医療病棟を運用する。</p> <p>▼病床規模：圏域では今後10年入院患者の増加が見込まれることから、許可病床は維持し、稼働病床は柔軟に対応する。</p> <p>▼在宅医療：医療機関や介護サービス事業者と連携し、在宅医療の後方支援機能を果たす。</p> <p>▼健診：市民の健康増進に貢献するため、市民の受診率向上、早期発見、早期治療につなげる。</p>	<p>②機能分化・連携強化</p> <p>▼自ら地域に出向く病院：医療機関訪問や在宅医療の後方支援などにより連携の強化を積極的に行い、地域完結型医療を主導する。</p> <p>▼地域に開かれた病院：紹介・逆紹介の推進や手術室などの共同利用を通じ、地域医療提供体制の充実を図る。</p> <p>▼将来需要への対応：高齢者医療需要の増加に重点的に取り組むため地域包括医療病棟を運用し、「地域密着型急性期病院」として早期在宅復帰やADL維持向上等に貢献する。</p> <p>▼救急医療の充実：「断らない、止まらない救急」の実現に努め、消防との連携を強化し、重症患者の受入れ及び救急入院体制の充実を図る。</p>
---	--

③医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標と一般会計負担の考え方

▼数値目標：中期計画で設定した目標指標への取組
 -手術件数 -訪問診療・訪問看護等件数 -患者満足度 -紹介率・逆紹介率等

▼一般会計負担の考え方：総務省通知の繰出基準に基づき、救急医療などの確保や建設改良に要する経費について適切な範囲の運営費負担金を受ける。

（2）医師・看護師等の確保と働き方改革

<p>①医師・看護師等の確保</p> <p>・人材育成基本方針を定め、人材育成計画に基づき人材の育成・確保に取り組む。</p> <p>・大学との密接な連携を強化し、診療機能の維持・強化に向けた医療職の人材を確保する。</p> <p>・チーム医療を支える認定医・認定看護師等の高い専門性を持った有資格者の育成に努める。</p>	<p>②臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保</p> <p>・臨床研修・医専門医制度への迅速かつ適切な対応</p> <p>・大学病院等との連携を通じて研修医が幅広い研修を主体的に選択して実践できる環境整備</p>	<p>③医師の働き方改革への対応</p> <p>・医師の労働時間短縮計画に基づいた取組の実行</p> <p>・医師から多職種へのタスクシフトの円滑な導入と医療従事者が働きやすい勤務環境の整備</p>
--	---	---

（3）経営形態の見直し

・平成29年4月より移行した地方独立行政法人としての運営継続

（4）新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

・滋賀県唯一の第一種感染症指定医療機関としての役割維持

・平時から地域の医療機関や介護施設等へ感染防止対策の一環として訪問指導を行う

（5）施設・設備の最適化

<p>①施設・設備の適正管理と整備費の抑制</p> <p>・中長期的な費用平準化及び計画的修繕による長寿命化を考慮した施設設備の老朽化対策</p> <p>・必要性及び採算性、他の医療機関の購入実績を踏まえた効果的な医療機器の調達</p>	<p>②デジタル化への対応</p> <p>・患者サービス及び医療の質の向上、業務の効率化及び軽減、医療の質の向上等に資する医療DXの取組の推進</p> <p>・厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」を踏まえた情報セキュリティ対策への取組</p>
--	---

（6）経営の効率化

<p>①経営指標・収支比率に係る数値目標</p> <p>・中期計画で設定した目標指標への取組（重点取組項目は下記のとおり）</p> <p>-病床稼働率 -年延入院・外来患者数 -入院・外来診療単価</p> <p>-医師1人1日当たり診療収入 -全職員1人1日当たり診療収入 -職員給与費対医業収益等</p>	<p>②目標達成に向けた具体的な取組</p> <p>▼病床稼働率の向上：将来的な医療需要の増加が見込まれる分野（がん、高齢者救急など）に対応するため、がん医療における集学的治療体制を強化し、24時間365日対応可能な「断らない、止まらない救急」の実現に努めるとともに、地域包括医療病棟を運用する。</p> <p>▼紹介件数及び新入院患者数の増加：地域医療支援病院として、地域における保健・福祉・医療・介護などの多職種連携や在宅医療の後方支援機能の充実、医師同士の「顔の見える関係」を構築し連携強化を積極的に行い、地域完結型医療を主導することで、患者が安心して医療を受けることができる体制を整える。</p> <p>▼職員の労働生産性向上：人材育成基本方針・人材育成計画に基づく人材の育成・確保に取り組むとともに経営参画意識の向上に努め、全職員がモチベーションを高く持つことができるよう人事給与制度を構築す</p>
<p>③経営強化プラン対象期間の各年度の収支計画等</p> <p>・中期目標で示された数値目標の達成に向けた収支計画を作成し、達成を目指す。</p>	

市民とともに歩む健康・医療拠点
(イメージ)